2026年度 一般社団法人日本臨床化学会 第1回理事会議事録

日　時：2026年6月25日（木）13：30-14：30
議　長：三井田孝（理事長）
出席者：三井田孝（理事長）
　　石井直仁、大川龍之介、城野博史（以上 常務理事）
　　中川沙織、中沢隆史、平山　哲、堀田多恵子、山口哲史、山下計太（以上 理事）
　　齋藤邦明、三浦雅一（以上 監事）
欠席者：伊藤弘康、大林光念、川崎健治、小谷和彦、惠　淑萍、仁井見英樹、橋口照人、松下一之、
　　吉田　博（以上理事）

理事出席者数　10名（理事数　19名）、全出席者数　12名

1．開会の辞（三井田 理事長）
・理事総数19名中10名の出席があり理事会は成立した。
2．議事録確認者の指名（三井田 理事長）
・大川理事、山下理事が指名された。
3．報告事項
1）庶務報告（石井 庶務担当理事）
①学会会員現状報告
・2026年3月31日時点で企業会員を除く会員は合計2,043名 で、6月10日時点では合計2,027名のため16名減少となった。今後入会者が増える見込みではあるが、若手会員の入会促進について報告された。
・企業会員は昨年度38社、現在38社を維持していることが報告され、さらなる賛同企業獲得の働きかけが依頼された。
②事業報告・事業計画
・2025年11月に開催した理事会以降、評議員会のほか各種委員会などを開催し、学会誌は順調に発行している。本理事会以降も会議、学会誌発行など予定している。
2）2025年度に関する利益相反調査報告(中川 法務担当理事)
・2025年度に関する利益相反調査について報告がされた。
・対象者231名に対し、回答211名、未回答20名。
・回答率100％になるまで、事務局から未回答者に回答の依頼を続ける。
3）2026年度学会賞関連報告（山下 学術担当理事）
・2026年度の学会賞ならびにYIAの受賞者が決定した。
・学会賞は、学術賞1名、奨励賞2名、技術賞2社、論文賞1名。論文賞については、受賞者が逝去されたことが報告された。表彰式は論文を指導した平山理事が代理で出席し、副賞についても、例年通り支給する方針となった。
・技術賞の連続受賞について意見が交わされた。他企業からの申請活性化を促すため、企業懇話会などを通じて周知を図る。あわせて、応募資格についても見直しを行うこととなった。
・YIAは四国支部を除く各支部より1名の選出があり8名選出された。
・JSCC Student Awardについては、年次学術集会の一般演題登録時に募集をかけ、日本臨床検査学教育協議会で抄録による審査の結果10名が選出された。

＜学会賞＞

学術賞： 櫻井俊宏(北海道大学 大学院 保健科学研究院)

奨励賞： 桑原直子(新潟薬科大学 応用生命科学部)、酒井康弘(浜松医科大学 医学部)

技術賞： 富士レビオ株式会社、アボットジャパン合同会社

論文賞： 堀内優奈（順天堂大学医療科学部）

＜YIA＞

北海道支部：金　洛伶（北海道大学大学院保健科学院）

東北支部　：横山智士（弘前大学医学部附属病院 薬剤部）

関東支部　：田中満里奈（埼玉県立小児医療センター 検査技術部）

甲信越支部：大澤まみ（新潟大学医学部保健学科）

東海・北陸支部：岩村菜々美（福井大学医学部附属病院 検査部）

近畿支部：飯田千尋（大阪大学大学院医学系研究科）

中国支部：米田翔磨（山口大学医学部附属病院検査部）

四国支部：なし

九州支部：岡本拓磨（産業医科大学病院 臨床検査 輸血部）

＜JSCC Student Award＞

飯沼和奏（信州大学大学院 医学系研究科）

植松優衣（信州大学大学院 医学系研究科）

中村優月（北海道医療大学大学院 医療技術科学研究科）

柴田ゆず（北海道大学大学院 保健科学研究院）

和泉早希（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科）

佐藤心悠（順天堂大学大学院 医療科学研究科）

海下ありあ（順天堂大学大学院 医療科学研究科）

児玉憲星（福島県立医科大学大学院 保健科学研究科）

一ノ瀬愛理(熊本大学大学院 薬学教育部)

本田遥香（熊本大学大学院 薬学教育部）

4）認定関連報告（平山 教育担当理事）

①2026 年度認定臨床化学者申請状況報告

・新規申請者：13 名、更新申請者：14 名

②2026 年度認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度報告

・試験は 2026 年 12 月 13 日（日）とし、例年通り文京学院大学で実施予定。

・更新申請の受付期間は 11 月 12 日（木）～12 月 10 日（木）必着を予定。

・指定講習会は 10 月以降開始予定で、期間は 1 カ月程度。昨年と同様オンデマンドで開催する。

・更新セミナーは第 66 回年次学術集会のセッションから選出し、年会時に受講していただく予定。

・IFCC「Learning Lab」について、本会の認定制度の単位認定の対象として盛り込んで欲しいとの意見があり、教育委員会で検討を進めていると回答された。

5）学会公式 SNS について（中沢 集会・広報担当理事）

・学会公式 SNS を作成することについて、投稿ルールも作成し、先日の理事会メール審議で承認されたことが報告された。

・学術集会の参加についての案内依頼があったので、準備ができ次第早めに運用開始することとな

った。

6）若手育成助成金（須藤加代子基金）について（大川 理事）

・2026 年度の応募件数は、個人研究 4 名、多施設共同研究 0 件。現在はワーキンググループで審査中であると進捗状況について報告がされた。

7）第 65 回年次学術集会報告（齋藤 第 65 回年次学術集会長）

・2025 年 11 月 7 日～9 日にかけて開催された学術集会は、盛況のうちに無事終了したことが報告された。会計については、収入・支出ともに 24,007,061 円となり、学会からの準備金 150 万円を返済したうえで余剰金も学会に寄付した。

8）第 66 回年次学術集会準備状況報告（三井田 理事長）

・2025 年 10 月 30 日～11 月 1 日にかけて、北海道大学の学術交流会館において年次学術集会が開催される。開催期間は学園祭の時期にあたり、紅葉の美しい季節でもあることから、積極的な参加を呼びかけていただきたいと代理報告があった。

9）その他

編集委員会 ACB 担当交代について（三井田 理事長）

・長年にわたり担当を務めた小谷理事から松下理事へ担当が交代となった旨、および現在は引き継ぎ作業を進めている最中であることが報告された。

第 73 回日本臨床検査医学会共催シンポジウムについて（城野 理事）

・今年度はリポ蛋白検査専門委員会で対応されることが報告され、以下の通り日本臨床検査医学会へ回答済みであることが報告された。

日　　時：2026 年 12 月 17 日（木）～20 日（日）

場　　所：幕張メッセ

- セッションテーマ 講演内容など：Lp(a) 診療の最前線（90 分）
- 希望座長：平山哲先生、大川龍之介先生
- 希望演者：吉田博先生、山下計太先生、小倉正恒先生

勧告法総集編 2026 年版について（堀田 理事）

・勧告法総集編 2026 年版の制作に伴い専門委員会に調査したところ総ページ数が 1000 ページを超える見込みであることが報告され、内容のスリム化が課題となっていることが報告された。

・現在活用されていない勧告法は、リンク参照するなどオンライン化するなどの対策を検討するためのワーキンググループを設置することが提案された。今後は堀田理事を中心に、関連する委員長とも相談しながら人選および掲載内容の検討を進めることとなった。

クレジットカード決済について（三井田 理事長）

・従来の振込用紙からクレジットカード決済への移行が提案された。移行にあたっては振込用紙の郵送は廃止する方針が示された。会費の案内方法はメール案内へ一本化することが報告された。審議の結果、これら一連の導入および移行方針について承認された。

4．協議事項

1）会計関連

・2025 年度決算案および 2027 年度予算案について、以下の通り説明がなされ承認された。

①2025 年度決算案（城野 会計担当理事）

・2025 年度の収入合計は 27,267,215 円で、予算を約 140 万円上回ったことが報告された。会費収入は 23,062,000 円と予算を若干上回ったが、事業収入は 1,898,766 円で予算を下回った。Annals 誌の購読料が減少傾向にあるため購読について推奨された。

・支出合計は 24, 757, 319 円となった。事業費は 11, 798, 301 円であり、支部事業費が予算を超過した要因は、近畿支部の補助金用口座の開設に伴い保留分の一括振込を行ったためであると報告された。また、管理費は 12, 959, 018 円であった。この結果、当期における収入と支出の差額は 2, 509, 896 円となった。

②監査報告（三浦 監事・齋藤 監事）

・監査報告書、監事 2 名それぞれで確認し、適切に使用されていると確認したとの報告がなされた。

③2027 年度予算案（城野 会計担当理事）

・2026 年度予算案について説明がされ、承認なされた。

・支出の部：勧告法総集編関連費について、ガイドライン制作準備費として昨年に引き続き増額した。また若手育成委員会企画の合宿・ダイバーシティ委員会新設のため常置員会費を増額、プロジェクト活動費についても新規プロジェクト申請が続いているため増額した。

2）若手育成委員会委員長の変更について（大川 理事）

・現委員長の小谷理事より申し出があり、後任として副委員長の岡田光貴先生を新委員長とする提案がなされ、承認された。

3）分野別理事数の割り振り（城野 選挙管理委員会委員）

・会員数・評議員比率の重み付けに基づき、医師 2 枠、教育研究職 2 枠、医療職 3 枠、産業系 1 枠となることが報告され、承認された。

4）ダイバーシティ委員会の委員選出について（中川 理事）

・各会員区分（医師、教育研究職、医療職、産業系）から 2 名ずつ選出する案が提示された。選出にあたっては性別や国籍などの多様性も考慮するという、委員選出の方向性について承認された。委員候補については、後日あらためて提案することとなった。

5．その他（三井田 理事長）

・次回理事会日程について、以下の通り予定していることが報告された。

拡大理事会　10 月 30 日（金）18 時 40 分～20 時 40 分

6．閉会の辞（三井田 理事長）

・理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

以　上

2026 年 6 月 25 日

一般社団法人日本臨床化学会理事会

議長　三井田孝

議事録確認者　山下計太

議事録確認者　大川龍之介